

令和 2 (2020)年度 基盤研究 (S) 審査結果の所見

研究課題名	経済停滞と格差拡大：世界経済の危機と統一マクロ理論の構築
研究代表者	小野 善康 (大阪大学・社会経済研究所・特任教授) ※令和 2 (2020)年 9 月末現在
研究期間	令和 2 (2020)年度～令和 6 (2024)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>【課題の概要】</p> <p>低成長の長期化と格差問題の先鋭化は、我が国を含む先進諸国共通の悩みである。本研究は、資産選好を織り込んだ新たなマクロ経済モデルの構築によって、標準的理論の欠陥を克服し、なおかつマクロ・ミクロデータ双方を用いた多様な実証研究によって、同モデルの現実適合性を厳密に検証することで、従来のマクロ経済学では効果的な分析がなし得ないこの問題に対して有用な政策提言をもたらすものである。</p> <hr style="border-top: 1px dotted black;"/> <p>【学術的意義、期待される研究成果等】</p> <p>低成長、マイナス金利、資産価格の高騰、所得格差の拡大という一連の経済的「病理」を同時に取り扱うことが可能な一般マクロ経済理論の構築を目的とする本研究の実施は、我が国の経済学研究のみならず、国際的にも強い波及効果をもたらす。また、本研究は、行動経済学、イノベーション論及び産業組織論とも強い結び付きを有することから、これら諸分野への高い学術的貢献も期待できる。</p>